

『音のある朗読会』

～心に響く物語～

2026年

日時

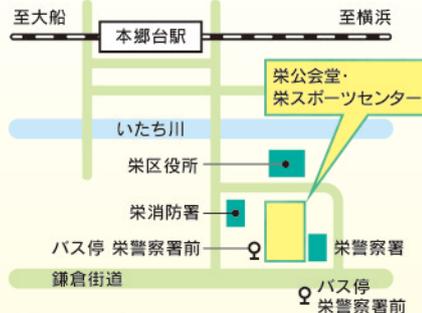
3月21日(土)

14:00～16:30 (終演予定)

場所

横浜市栄公会堂「講堂」

横浜市栄区桂町279-29 TEL045-894-9901



朗読作品

ひぐま

あべ弘士作



「ひぐま」あべ弘士／作
ブロンズ新社



どんぎつね

新美南吉作



セロ弾きの

ゴーシュ

宮沢賢治作



演奏
曲目

- PHOENIX～ベートーヴェン「悲愴」より～
- YOU RAISE ME UP
- 里の秋
- 日本の歌メドレー
- いのちの歌
- 白鳥
- 天国と地獄
- Another Sky
- G線上のアリア

[ヴィオラ イメージ アーティスト] 沖田 由美子

[ヴィオラ奏者] 青柳 弘子／江原 惠美子／大槻 勢津子

加根魯 晶子／綱川 浩美／増山 玲子

[パーカッション] 呉 成徹

台詞 (セロ弾きのゴーシュ)

洗足学園音楽大学ミュージカルコース講師

五東 由衣

劇団四季元ヒロイン役

[出演作品] オペラ座の怪人・キャッツ・美女と野獣 他

朗読&解説

札幌国際大学人文学部国際教養学科教授

(専門 日本文学、絵本、言葉、図書館司書課程)

武井 昭也

※この活動では、団体広報や活動報告のために撮影した写真や映像等を広報用にHPやSNS、刊行物等に掲載することがあります。

主催 株式会社Bornfree

後援 神奈川県、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、鎌倉市、鎌倉市教育委員会
(公財)音楽文化創造、(株)自由現代社、ヤマハミュージック横浜みなとみらい(予定)

協力 (同)UNICO、Photographer大橋宏明、パブリカミュージックレンタル、B&P

[お問合せ] 株式会社Bornfree ☎ 2018.bornfree@gmail.com ☎ 090-6136-6345

チケット料金

一般

4,400円

高校生以下

無料

チケット販売は
コチラから



株式会社Bornfree 代表取締役 千葉 登世

音楽芸術の構造設計と舞台総合演出を専門とする文化プロデューサー。国内外での演奏経験を経て、現在は株式会社Bornfree代表取締役として、公演の企画立案・構成設計・総合監督を統括。音楽療法のアプローチとして体系化した「音楽呼吸療法®」を基盤に、朗読・映像・音楽を有機的に統合し、子どもから高齢者まで安心して楽しめる文化芸術事業を推進している。



主な国際公演・受賞歴

- ウィーン コンツェルトハウス公演
- シドニー オペラハウス公演
- サンフランシスコ Kanrin Maru 150周年記念公演
- サンフランシスコ チェリーブロッサムパレード 表彰状授与
- NYカーネギー大ホール公演にて高評価
- 上海東方TV局上海万博イベント30分ドキュメント番組 金亜琴氏と共演
- 日本武道館にて五木ひろしアーティストサポート

その他

- (公財)音楽文化創造 生涯学習音楽指導員A級
- (一社)日本音楽療法学会 音楽療法士
- Seeds学院高等部 ICT特別講師
- 著書「やさしい三味線講座」セブネット(和楽器部門) 第1位、Amazon・楽天・Yahoo!でも高評価
- 調理師・製菓衛生士として食分野の企画・制作活動も展開

Bornfreeとは

音楽・教育・文化を通して人と地域、そして世界をつなぎ、文化を育むクリエイティブプロジェクトです。生涯にわたる学びと交流の場を創出し、地域から国際社会へと文化の可能性を広げながら、誰もが輝ける未来の実現を目指しています。地域資源と専門性を戦略的に掛け合わせ、持続可能な文化価値を創出し、社会的インパクトと経済的成果の両立を図ります。



音楽呼吸療法®とは

「音楽呼吸療法®」は、呼吸のリズムと音楽表現(テンポ・フレーズ・間・音量)の関係に着目し、鑑賞者が自然な呼吸を保ちながら物語や音楽に集中できるよう設計された音楽のアプローチです。医療や治療を目的とするものではなく、文化芸術活動における演出技法の一つとして、過度な音量や急激なテンポ変化を避け、朗読や映像の余韻を大切にしながら、子どもから高齢者まで安心して鑑賞できる環境づくりを目指しています。

出演者プロフィール

※ヴィオラ奏者は五十音順

朗読&解説 武井 昭也

札幌国際大学人文学部国際教養学科教授。1956年青森県弘前市生まれ。法政大学大学院人文学研究科日本文学専攻修了、人文学修士。北海道立高校教諭、北海道教育委員会を経て現職。専門は日本近代文学、図書館司書課程、絵本研究。2014年以降、札幌国際大学心理相談研究所公開講座「朗読の集い」にて文学的視点から解説を担当し、宮沢賢治「セロ弾きのゴーシュ」、オー・ヘンリー「最後の葉」、小泉八雲「生神」、柳田國男「遠野物語」、新美南吉「でんでんむしのかなしみ」、知里幸恵「アイヌ神謡集」、メーテルリンク「青い鳥」などを取り上げる。一般社団法人言の葉協会第12回言の葉大賞学校賞、全国大学実務教育協会実務教育優秀教員表彰、日本ビジネス実務学会プレゼンター・オブ・ザ・イヤー賞優秀賞、Best Educator of The Year賞受賞。趣味は料理、映画鑑賞、ハンドボール観戦、登山。



「セロ弾きのゴーシュ」台詞 五東 由衣

武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ/専攻卒業。1989年「SF-X-OZ」で初舞台を踏む。その後宮本亜門演出「エニシング・ゴーズ」「20世紀号に乗って」に出演。1990年、劇団四季入団。以後、「キャッツ」ジェリーロラム・グリドルボーン、ミュージカル「李香蘭」李愛、「美女と野獣」ベル、「赤毛のアン」ステイシー先生、「オペラ座の怪人」クリスティース、「アイダ」アムネリス王女、「マンマ・ミーア」ドナなど数多くの作品に出演。2010年12月劇団四季退団後は、韓国オリジナルミュージカル「ハルレ」ミュージカル「HONK!」浅利慶太プロデュース「ミュージカル李香蘭」李愛、「オンティーン」王妃イソルテ役2.5次元ダンスライブ「ツキウタ。」ステージ「ジキステ。」第五編「Rabbits Kingdom」など数多くの舞台に出演。「音の和」(高齢者介護支援音楽療法)主催。2010年4月より国際医療福祉大学東京ボイスセンターにてボイストレーニングも行う。2015年11月伊勢神宮外宮奉納舞台で奉音。エリオフィス所属。



沖田 由美子 ヴィオラ イメージアーティスト

山形県生まれ。埼玉県在住。1971〜75年、ヤマハ音楽教室システム講師の(ヴィオライメージアーティスト)傍ら、福島中央テレビ「奥様11時です」にエレクトーン奏者としてレギュラー出演。1992年、全日本エレクトーン指導者協会主催「アレンジコンペティション」初代グランプリ受賞。1996年、ヤマハ大正琴部門設立以来、財団本部の指導者スタッフとしてテキスト作成、全国の指導スタッフの育成のほか、演奏活動も幅広く行う。2002年よりヴィオラ誕生とともに関連出版物の編集、監修を手掛ける。現在は講座や演奏活動等を積極的に展開中。ウィーン オペラ座公演、ニューヨーク カーネギー大ホール公演、ハワイ ハワイシアター公演など、国内外にて積極的に演奏活動を行っている。



青柳 弘子 ヴィオラ奏者

尚美ミュージックカレッジ電子オルガン学科卒業後、音楽と心理の関わりを深めるべく大学にて心理・教育学を専攻し卒業。ピアノ・エレクトーン・ヴィオラ・音楽療法士。3歳よりエレクトーン・ピアノ・クラシックバレエ・フィギュアスケートを学ぶ。音楽と舞台芸術に親しみ、国立音楽院高等部電子オルガン学科第1期生として研鑽を積む。在学中よりYAMAHAヴィオラサウンドオーケストラに最年少で所属し、ソロ奏者としても活躍。心理学を基盤に日本音楽療法学会音楽療法士として児童〜高齢者まで幅広い世代を支援。「音楽呼吸療法®」を取り入れたストーリーテリングの読み聞かせを全国で行っている。近年は映像制作やWEB/SNSマーケティングにも活動を広げ、AIを融合した楽曲・映像制作や国内外アーティストとの共演など多角的な表現を展開。上海東方TV局「上海万博イベント」30分ドキュメント番組にて金亜琴氏と共演。名流祭にて作詞家八木倫明氏と共演。株式会社Bornfree エグゼクティブ・プロデューサー。



江原 恵美子 ヴィオラ奏者

武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。下山望氏、野口徳子氏、水谷達夫氏に師事。システム講師を経て、財団法人音楽文化創造検定合格後、全国生涯学習音楽指導員として研鑽を積み、地域音楽コーディネーターとして区の生涯学習センターで色々な分野での音楽で生き甲斐を持つこと、音楽で健康を保つことの重要性を高め、地域社会を盛り立てることを目的に指導にあたっている。2009年ドイツ ウィーンコンツェルトハウス公演、2012年ニューヨーク カーネギー大ホール公演、2010年上海万博記念公演、上海東方TV局「上海万博イベント」30分ドキュメント番組にて金亜琴氏と共演。



大槻 勢津子 ヴィオラ奏者

茨城県出身。幼少期よりオルガン・エレクトーン・ピアノを学び、自宅講師を経て、現在は首都圏を中心にヴィオラ・大正琴の演奏活動を積極的に行っている。ヴィオラを沖田由美子に師事。また、松原貞介氏率いるコーラス団体に所属し、大会での上位入賞を目指して研鑽を重ねている。音楽を通して培った寄り添う心を大切にしながら、2級ファイナンシャル・プランニング技能士、相続診断士としても活動。人生を豊かにする音楽とお金の両面から、一人ひとりに丁寧に向き合っている。趣味は旅行先での食べ歩き。



加根魯 晶子 ヴィオラ奏者

関西出身。ヴィオラ・ピアノ・鍵盤ハーモニカ・音楽健康指導士。大学で社会学・教育学を専攻。子育て期に音楽を再興、ピアノ・エレクトーン・指導のトリプルグレード取得。ジャズピアノ理論を貴峰啓之氏に師事。1990年代(財)音文創・文科省委託「地域子ども教室」運営。高齢化社会に入り「音楽と健康」をテーマに「音楽スマイルスタジオ」主宰。ヴィオラ、鍵盤ハーモニカ、ミュージックペルの演奏・指導、編曲・音源作成。シドニーオペラハウス、ベネチア、チェコ・スメタナホール海外公演。上海東方TV「上海万博ドキュメント番組」に金亜琴氏と共演。現在、国内イベント、LIVE・こども園・小学校・高齢者施設等で活動中。



綱川 浩美 ヴィオラ奏者

栃木県出身。幼少期よりピアノを学び、小学校中学年より合唱部に在籍。高校ではNコン全国大会に出場する。音短大では、ピアノ・声楽・エレクトーンを学び、卒業後は、ピアノ・エレクトーン講師、幼稚園芸術教室講師として指導にあたる。jet全日本エレクトーン指導者協会在籍中にヴィオラに出会い、首都圏を中心にイベント・体験会等、演奏活動を展開。ヴィオラを沖田由美子氏に師事。テクニックだけではなく「人の心に寄り添う音楽」をモットーに研鑽を積んでいる。また、楽曲の編曲・編集・浄音も手がけている。趣味は洋裁・編み物。ステージの衣装も製作している。



増山 玲子 ヴィオラ奏者

茨城県出身。栃木県小山市在住。エレクトーン・ヴィオラ・大正琴。幼少の頃より歌うことが好きで歌手を目指すも断念。短大英語科卒業後、一般企業に入社するも21歳の時にヤマハエレクトーンと出会い多彩な楽器に魅了される。後にjet(全日本エレクトーン指導者協会)会員として、エレクトーン指導に携わる。2004年ヤマハヴィオラ指導者認定取得とともに、ヴィオラ演奏活動を開始する。2010年友好親善を目的とした海外公演に参加。サンフランシスコチェリーブロッサムパレードにて、日本領事館より表彰状授与。音楽講師としての仕事の傍ら、道の駅、市民文化祭、高齢者施設関連でのヴィオラ演奏活動を行っている。茨城県鹿嶋市での里山コンサートは大変好評を受けた。



呉 成徹 Percussion

東京都生まれ。ESPミュージカルアカデミー専門学校ドラム科卒業。高校時代よりドラムを始める。高校卒業後、ESPミュージカルアカデミー専門学校ドラム科を得て、リズム教育研究所においてドラムを江尻和氏に師事。パーカッションを石川武氏に師事する。卒業後、カントリーバンドのサポートで、各ライブハウスやホテル等で演奏活動を行なう。ドラマー、パーカッションストとして、アーティストツアーに参加。ヤマハの各種イベントや、舞台、講師、メジャーアーティストサポート等、幅広い活動を行っている。

